

1. 調査事業（公共交通空白地利用実態調査）

① 佐渡市地域公共交通活性化協議会の開催

市内における公共交通空白地調査の必要性について、現状を整理し、協議会で実施内容について検討する。

② 外出実態アンケート調査

(1) 公共交通空白地調査が必要とされる地区で、高齢者等の外出実態アンケートを実施する。

※通院、買い物等における交通手段、外出頻度等を把握する。

(2) 交通事業者ヒヤリング

高齢者等交通弱者の利用状況聞き取り

(3) 高齢者運転免許証返納者へのアンケート

平成28年度に運転免許証を返納した70歳以上の方に交通移動手段等についてアンケートを実施する。

(4) 老人クラブ連合会へ、交通移動手段等の状況について聞き取り。

(5) 高校生の通学利用実態アンケート。

③ 作業部会の開催

②の調査結果をもとに、事務局案を作成。

佐渡市、事業者、運輸局、関係団体の担当レベルでの作業部会を随時開催して、事業実施モデル地区の選定、運行形態の設定等検討する。

④ 佐渡市地域公共交通活性化協議会の開催

事務局案を協議会へ諮る。

合意後、具体的な社会実験について事務局・事業者・モデル地区となる集落等で調整する。

(運輸局から運行形態・許可申請書等について助言をいただく)

⑤ 社会実験

実験後には、利用実績のとりまとめ、利用者アンケート等を行い、検証、改善を図る。

地域公共交通活性化協議会において、利用実績、アンケート結果の報告、検証を行い運行の内容の改善等に努める。

2. 公共交通利用促進事業

◆バスの日ワンコイン（100円）バス

【予算：380千円】

- 目的 ワンコインバスを実施し、路線バスの利用促進を図る。上記の乗り方教室のイベントに併せて実施する。
- 実施日 平成29年9月22日（土・祝）、23日（日） 10月21日（土）、22日（日）
- 対象路線 島内路線バス全線
- 内容 1乗車100円の特別運賃の実施

◆路線バス乗り方教室

【予算：110千円】

- 目的 保育園児を対象にバスの乗り方教室を実施し、園児及びその保護者から路線バスへの関心を深めてもらい利用に繋げる。
- 実施日 平成29年9月20日（水）、10月20日（金）
- 対象 公募により募集する4園の園児
- 内容 路線バスの乗り方説明、路線バス乗車体験、バス運転席体験、記念撮影、記念品配布など

◆「病院乗り入れ便」チラシの作成

【予算：450千円】

- 目的 佐渡総合病院のバスロータリーの供用開始後、路線バスの利便性向上が図られていることから、市民に周知し利用促進を図るため作成する。
- 内容 ○12月ダイヤ改正に併せて市内全戸配布（24,000部）
○4月ダイヤ改正の際にも同様に実施する。

3. 観光二次交通事業

◆観光二次交通の確保

観光施設へ延伸・迂回し、観光客等の利便性の向上を図る。

- 運行期間：4月1日～11月30日【土・日・祝日運行】
- 対象路線：本線（佐渡金山、相川郷土博物館、佐渡奉行所）
南線（トキの森公園、大膳神社、妙宣寺、国分寺、佐渡歴史伝説館）
海府線、七浦線（尖閣湾）
小木線（西三川ゴールドパーク、佐渡歴史伝説館）

◆小木港からの二次交通の確保

小木港からの観光客の利便性確保のため延伸または迂回する。

- 小木線
佐渡汽船接続便の2往復について相川まで延伸する。
- 宿根木線
観光施設の太鼓体験交流館を迂回し、ジオサイト活用のため江積まで延伸する。

◆路線バスフリー乗車券の見直し

販売促進と利用者の利便性向上を図るため、2 d a y 及び 3 d a y フリー乗車券を路線バス車内で販売する。

（変更点）

- ・路線バス車内で全券種販売可能とする。
- ・販売金額を見直す。（以下参照）
 - 1 d a y フリー乗車券 大人1,500円、小人 750円（変更なし）
 - 2 d a y フリー乗車券 大人2,500円、小人1,250円（変更なし）
 - 3 d a y フリー乗車券 **大人3,000円、小人1,500円**（大人△500円、小人△250円）

※施設利用券を廃止する。

（取り組み）

これまで販売窓口がわかりづらい等の意見があったため、お客様目線に立ち、より一層の周知を徹底する。



3. 観光二次交通事業

◆自転車ラックバス

【予算：1,500千円】

- 導入目的 佐渡はロングライドやトライアスロンといった自転車競技が盛んであり、佐渡市の施策であるスポーツ・ツーリズム構想の観点から自転車ラックバスを導入する。
- 対象路線 未定
- 自転車車載料金 無料



3. 観光二次交通事業

◆利用促進PR

【予算：700千円】

観光二次交通路線の利用促進及びフリー乗車券の販売促進を図るため印刷物、のぼり、ホームページ等によるPR活動を行う。また、急増する外国人旅行客への利便性向上のため、多言語化への対応を行う。

■各種広告物の制作等

- ・フリー乗車券の販売促進
- ・観光二次交通パンフレットの制作
- ・ホームページ等による効果的なPR

■多言語化への対応

- ・交通拠点での誘導サイン（一部実施、継続して取り組む）

佐渡金銀山の世界文化遺産登録を見据え、佐渡金山周辺1箇所、ほか2箇所程度を計画

4. 低床型車両導入費補助

【予算：4,000千円】

■目的 事業者の低床型車両の導入を支援し、島内路線バスのバリアフリー化を促進する。

■補助率及び補助上限：補助率2分の1、1台あたり2,000千円（限度額）

■台数（目標）：2台

■低床化率：現状46.3%（25台/54台） ⇒ 目標48.2%（27台/56台）
平成31年目標 50.0%



5. 佐渡市地域公共交通活性化協議会と連携して実施する市の事業

◆路線バス運賃割引サービス

平成27年度から高齢者路線バス運賃割引サービスを拡充したところ登録者は増加傾向。

- 対象者 佐渡市内に在住する70歳以上の方
- 内容 路線バスを1乗車200円で何回でも利用可能
- 登録者数 7,007人（平成29年2月末）

高齢者運転免許証返納支援事業との連携や利用周知により登録者数の増加を目指す。

◆運転免許証返納支援事業

佐渡市は新潟県内でも高齢者の事故発生率が高く、平成28年度から運転免許証の自主返納者に対する支援制度を創設し、高齢者の運転免許証の返納を推進した。平成29年度についても引き続き事業を継続し、公共交通の利用促進と交通安全の推進を図る。

- 対象者 平成28年4月1日以降に運転免許証を自主返納した70歳以上の方
- 内容 市内のバス・タクシー共通利用券10,000円分交付

◆赤泊港二次交通確保対策事業

赤泊港への公共交通を確保し、航路の活性化及び利便性向上を図る。

- 対象者 寺泊赤泊航路を利用する観光客等
- 内容 主に観光客の利用が見込まれる航路ダイヤに接続する二次交通を確保するため、以下のとおり取り組む。

赤泊港着便への対応 路線バス前浜線のダイヤを変更し、小木港発の小木線（相川行き）へ接続する。

赤泊港発便への対応 寺泊赤泊航路利用者に限り、**島内全域**⇒赤泊港 間のタクシー運賃の一部を補助する。

平成29年度

佐渡市地域公共交通活性化協議会

事業計画（案）

目次

1. 調査事業（公共交通空白地利用実態調査）…………… P 1
2. 公共交通利用促進事業…………… P 2
3. 観光二次交通事業…………… P 3
4. 低床型車両導入費補助…………… P 5
5. 佐渡市地域公共交通活性化協議会と連携して実施する市の事業… P 6